

# Ⅲ 社内外の評価及びご意見

## 1 環境アクションレポートの読者アンケート

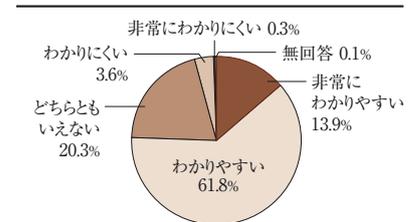
2010年6月に発行した「2010 九州電力環境アクションレポート」のアンケートを通じて、九州電力の環境活動のあり方などについて、1,120名の皆さまから貴重なご意見をいただきました(2011年3月末現在)。ご協力ありがとうございました。

九州電力の環境への取組みについて、ご関心を持たれた項目と、その理由やご意見 (n=1,120)

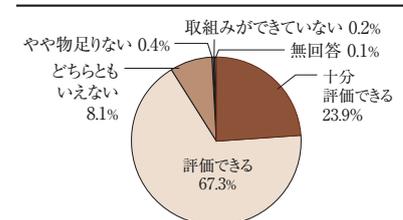
ご回答が多かった項目(上位5項目)	選択数	主な理由・ご意見
1 温室効果ガスの排出抑制	271	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化問題は、一生向き合う問題の1つであり、確実にCO<sub>2</sub>が削減できていることを知って安心した。</li> <li>再生可能エネルギーの推進状況が確認できた。お客さまへの省エネ推進活動にはもう少し力強く取り組んで欲しい。</li> </ul>
2 大気汚染・水質汚濁・騒音などの防止	217	<ul style="list-style-type: none"> <li>発電所の近辺に住んでいる人々や環境に影響が出ないようにするのは当然の事。もの言わぬ動植物の生態系も守って欲しい。</li> </ul>
3 オゾン層の保護	213	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時期、オゾン層を破壊するフロンが騒がれていたが、回収の徹底などの努力により、2000年度以降フロンの排出量が無くなってきて良かったと思う。</li> </ul>
4 原子力関連情報	153	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力は、必要とは言われつつも、危険と隣りあわせで怖いものだと思うので情報公開は大切だと思う。</li> <li>原子力は、風力、火力などの発電に比べるとやはり安全性が気になる。発電所近くにお住まいの方への十分な配慮をお願いしたい。</li> </ul>
5 次世代層へのエネルギー・環境教育の展開	150	<ul style="list-style-type: none"> <li>今の子供たちにとって電気は当たり前のものなので、電気の大切さ、環境を守ることの大切さを学ばせることは重要である。</li> </ul>

(注) 複数の項目を選択可能(最も関心あり1つ、その他関心あり4つ)なため、最も関心ありの選択数に1.5ポイント、その他関心ありの選択数に1ポイントを乗じて順位付け。

レポートのわかりやすさ (n=1,120)



当社の環境への取組みに対する評価 (n=1,120)



## 2 九州電力環境顧問会

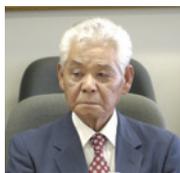
2011年11月2日に「第11回 九州電力環境顧問会」を開催し、九州電力グループの環境への取組みや「2011九州電力環境アクションレポート」について、様々なご意見をいただきました。

環境顧問会での主なご意見とその対応方針についてご紹介します。

### 九州電力環境顧問会委員 (50音順 敬称略)



あさの なおひと  
浅野 直人  
福岡大学 法学部 教授  
中央環境審議会委員



おつか まさお  
大塚 政雄  
環境省 環境カウンセラー  
(市民部門)



かど ひさよし  
門 久義  
鹿児島大学 大学院  
理工学研究科 教授



つづい やすひこ  
筒井 泰彦  
エッセイスト



つる た さとし  
鶴田 暁  
九州地域環境・リサイクル産業  
交流プラザ 会長



ながた  
詠田 トキ子  
NPO法人  
みやざきエコの会 理事長



にしだ しんいち  
西田 進一  
西田鉄工株式会社  
代表取締役社長



のむら みきお  
野村 美紀生  
株式会社テレビ西日本  
常務取締役



ふじもと とはる  
藤本 登  
長崎大学 教育学部  
教授



会議風景

※: 鶴田委員は都合によりご欠席されたため、別途ご意見をいただきました(顔写真には昨年度のものを使用)。